

## NHK長野放送局「知るしん」

円福寺愛育園 園長 藤本光世

箸ピー大会の取り組みを中心とした円福寺愛育園の子どもたちの生活がNHK長野放送局の「知るしん」で紹介されます。放映は、2月19日（金）午後7時30分からです。目標に向かって毎日を明るく生活している子どもたちの様子をご覧ください。

ドラマの最後を飾ると思われる、箸りんびっく大会について以下に書きました。箸ピーゲームについて知っていただけると嬉しいです。

### 第2回箸りんびっく大会

2月6日（金）に川口市の国際箸会館で第2回箸りんびっく大会が開催されました。

箸りんびっく大会とは、国際箸ルールに則って、箸学会公認の箱に入った50個の殻付きピーナッツをお箸でもう一つの箱に移す競技会です。左手と右手の各1分間で移した数の合計で競う個人戦と、5人がチームになって50個のピーナッツを移していく箸ピー駅伝（団体戦）があります。

当園の児童は昨年に続いて今年も個人戦、団体戦の優勝に輝くことができました。これは、とっても荣誉あり、誇りであり、子どもの自信につながる意義あることと嬉しく思っています。

昨年は、初めての大会ということもあり、最も練習してきたのが当園であることは分かっていましたので、優勝は当然と思っていました。実際、個人戦は3位まで独占しましたし、団体戦も競技者一人分の30秒以上も離してのぶっちぎりの優勝でした。ところが、今年は違っていました。昨年に参加された地元の方が毎日練習を積んで、優勝を目指して参加されたのです。練習の箸使いと豆運びを見て、これは速いぞと驚きました。当園の子ども以外には、あのように素早く豆を移せる人を見たことがありませんでした。

でも、少しおかしいのです。一緒に行った職員が豆を二つ同時に移していると言います。最初、持ちやすいように豆を並べています。おとした豆の処理が元の箱に一旦戻していません。でも、試合は始まっています。私はルールに則り正しく競技して勝つことこそ意義があると思っていました。

でも、とっても速いのです。予選が終わって、決勝に進んだ5人は当園の児童は3名（記録311,246,246）、地元の方が2名（記録281,246）でした。接戦です。優勝できるかわかりません。

決勝戦はたった1回の勝負です。失敗は許されません。緊張が漲っています。始まりました。スタートしてしばらくして、何と311個を記録した子がピーナッツを机の下に落としてしまったのです。この子は、昨年も落としてしまい優勝を逃しています。これで駄目だろうか、嫌な予感がしました。でも、今年はそのところが違っていました。ものすごいスピ

ードでお箸を動かし始めたのです。結果は分かりません。でも、私は優勝の可能性を諦めていました。

発表は、閉会式でした。それまでは分かりません。その前に団体戦があります。

団体戦もそのチームは強い人を5人そろえてきました。予選は愛育園が1分45秒、そのチームは2分4秒でした。でも分かりません。

決勝が始まりました。

愛育園の第一競技者は小学校2年生の男の子です。何とこの子が競技中に箸をピーナッツに突き刺してしまったのです。いくら振っても取れません。職員が手で取って、と言われて気づいたように左手で取って、ここで数秒遅れてしまいました。地元チームは早くも第2競技者に移っています。

当園は遅れて、相手チームに追い付いたのが第5競技者に入ったころでした。第5競技者は毎日学習に一生懸命に取り組んでいる中学2年生の子です。この子は周りなど全く関係なく自分の実力を出し切って、最後は8個ほど先に終了することができました。さすがです。普段の生活と、心の大切さを改めて実感しました。合計時間は1分56秒でした。相手チームは2分2秒。とても、接戦でした。

閉会式になりました。個人戦の発表です。3位は相手チームです。準優勝も相手チームでした。奇跡が起きました。ピーナッツを落とした小学校5年生の愛育園のHさんが優勝したのです。世界一になりました。

これは、本当に凄いことです。お豆を落としても決して諦めずに、それをバネに集中して全力を出したのです。あのもの静かな子にそんな力があつたと、本当に驚きました。職員が、あの子は負けず嫌いなので、落としてから本当に頑張ったと褒めていました。

今年は、NHK長野放送局が、当園の箸ピー競技の取り組みに興味をもって下さり、1月末から取材に入っていました。第2回箸りんびっくの一部始終もカメラに収めてくれました。

取材の前にディレクターさんと何度も打ち合わせをしました。どんな子を中心にして編集しましょうか。職員と相談して、それは信州大学工学部に合格したM君しかいないとなりました。それにM君は当園の箸ピー大会で第1回から3回まで三連覇しています。その周りにもう一人誰かと話し合っ、この小学校5年生のHさんにしました。この子は箸ピーの速さが一番で小学校3年生の時に優勝しているのですが、ピーナッツを度々飛ばして、机の下に落とすのです。去年の箸りんびっくも、箸ピー大会も優勝できませんでした。そんなことを話すと、そのドキドキ感を私たちも味わいたいと言われました。

Hさんおめでとう。本当に素晴らしいです。これを自信にしてこれからも頑張っ、ね。

箸ピー大会の取り組みを中心にして、愛育園の子ども達の生活をお届けするNHK知るしんは2月19日の放映予定です。ご覧になってください。